

県南県央・吉岐対馬

部四

市長賞に輝いた新宮さん(左から4人目)ら受賞者
|| 諫早市健康福祉センター



市長賞に新宮さん (西陵2年)

諫早 高校生弁論大会

ボランティアをテーマに、諫早市内の高校生が社会に対する提言や将来の夢などを発表する第17回高校生弁論大会(諫早ライオンズクラブ主催、長崎新聞社など後援)が10日、同市宇都町の市健康福祉センターであり、最高賞の市長賞に「ボランティア経営論の発想」と題して発表した県立西陵高2年の新宮聖羅さん(17)が選ばれた。

7校の代表7人が、ボランティア活動に参加し感じたことや将来の目標などを語り、表現力や論理性などの視点で審査された。新宮さんは子ども食堂の活動

ボランティア経営論語る

に参加。さまざまな家庭環境の子どもたちに無料で飲食やだんらん、居場所を提供する中で、運営費がスタッフの大きな負担となっていることや、必要な人に支援が届いていない現状を知った。「運営費が調達できなければ継続は困難。ボランティアでの利益追求はタブー視されてきたが、社会的弱者を見捨てず活動を強靱化するため、将来はボランティア経営論を新たに打ち立て、どうすればもっと良い活動になるか、常に考えていきたい」と力を込めた。

(江崎博子)

他の受賞者は次の通り。(敬称略)

▽諫早市教育委員会賞＝坂田和樹(県立諫早高2年)
▽諫早ライオンズクラブ会長賞＝堀江すず(長崎日大

高1年)▽優秀賞＝森高安純(創成館高2年)坂元悠太朗(県立諫早東高3年)板森実里(鎮西学院高2年)酒井美華(県立諫早商業高2年)